

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			9月22日	9月23日	9月24日	9月25日	9月26日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2.3980	2.4120	2.3830	2.4280	2.4200	-0.0080
	USD/YEN	Spot	108.82	108.88	109.04	108.74	109.29	+0.5500
	EUR/USD	Spot	1.2848	1.2847	1.2781	1.2750	1.2683	-0.0067
	BRL/YEN	Spot	45.38	45.14	45.75	44.79	45.16	+0.3700
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1.04	1.08	1.02	1.09	0.96	-0.1320
		1Year(p.a.)	1.33	1.34	1.35	1.41	1.36	-0.0430
Stock	Real Interest	6MTH(p.a.)	11.12	11.11	11.09	11.12	11.12	u.c.
		1Year(p.a.)	11.62	11.56	11.49	11.57	11.54	-0.0279
Stock	Bovespa		56,818	56,541	56,824	55,962	57,212	+1,250.30
Bond	CDS Brazil 5y		159.39	154.17	153.00	161.00	161.75	+0.7500
	Global 40		109.200	109.175	109.100	109.450	109.200	-0.2500

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィスまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	備考
PPI 製造業(前月比)	--	0.48%	-0.28%	
ローン残高(前月比)	--	1.00%	0.20%	
融資残高	--	2864B	2835B	
Private Banks Lending	--	1346B	1336B	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はU\$1=R\$2.3880で寄り付いた。
- 週初に発表された中銀のアナリスト予想調査では、2014年のGDP見通しが17週連続で下方修正され、前回の0.33%から0.30%に引き下げられた。また、2014年末の為替レート予想が2.30から2.34までレアル安方向に引き下げられた。シカゴ連銀全米活動指数が予想に反して前月比マイナスとなったことを受けて俄かにドルが売られ、レアルは週間高値となるU\$1=R\$2.3820をつけた。しかし、アナリスト調査結果や、ルセフ現大統領が再選する可能性が高いとの報道を受けて株式が軟調に推移すると、レアルは7ヶ月ぶりに2.4000を割り込んだ。
- 24日にはブラジル中銀が為替介入プログラムにおけるスワップのロールオーバー金額を6千枚から15千枚(1枚は5万ドル)に増額したことを受け、レアルは急反発した。一時は2.38台前半まで上昇したが、続かなかった。再びルセフ大統領優勢の報道が出たことからボベスバ指数が軟調推移し、レアルは2.40近辺まで反落した。
- 25日に発表された伯8月失業率は、横這いの予想に反して、前月の4.9%から5.0%に悪化した。3月以来の水準に悪化したことを受け、ボベスバ指数は6週間ぶりの安値まで下落した。更にロシアが海外資産凍結のドラフトを作成中との報道が出て、リスク回避の動きから新興国通貨が売られると、レアルも2.43台前半まで続落した。
- 週末にかけては米第2四半期のGDP確定値の発表があり、予想通り改定値から上方修正された。FRBによる早期利上げ期待が高まり、ドルが買われた。レアルは週間安値となるU\$1=R\$2.4430を示現した。引けにかけては週末を控えて短期筋の利食いやポジション調整と思しき動きが出て、結局U\$1=R\$2.4200で越過した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
9/29	長期レート	Oct-01	5.00%	5.00%
9/29	FGVインフレIGPM(前月比)	Sep	0.29%	-0.27%
9/29	FGVインフレIGPM(前年比)	Sep	3.62%	4.89%
9/29	CNI Consumer Confidence	Sep	--	108.3
9/30	純債務対GDP比	Aug	--	35.1%
9/30	Nominal Budget Balance	Aug	--	-32.7B
9/30	基礎的財政収支	Aug	--	-4.7B
9/30	中央政府財政収支	Aug	--	-2.2B
10/1	FGV CPI IPC-S	Sep-30	0.45%	0.43%
10/1	HSBCブラジル製造業PMI	Sep	--	50.2
10/1	貿易収支(月次)	Sep	--	\$1168M
10/1	総輸出	Sep	--	\$20465M
10/1	総輸入	Sep	--	\$19297M
10/1	CNI設備稼働率(季調済)	Aug	--	81.0%
10/1	自動車販売台数(ブラジル自動車販売店連盟)	Sep	--	272495
10/1	商品価格指数(前月比)	Sep	--	-1.34%
10/1	商品価格指数(前年比)	Sep	--	-2.69%
10/2	FIPE消費者物価指数(月次)	Sep	--	0.34%
10/2	鉱工業生産(前月比)	Aug	--	0.7%
10/2	鉱工業生産(前年比)	Aug	-6.00%	-3.60%
10/3	HSBCブラジルコンポジットPMI	Sep	--	49.6
10/3	HSBCブラジルサービス業PMI	Sep	--	49.2

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ：2.38—2.46

今週も引き続き大統領選挙の動向を睨みながらの相場展開となった。カンポス候補の後任として出馬した直後には、シルバ候補優勢の世論調査が目立ったが、先週辺りから、現ルセフ大統領優勢の調査結果が頻出している。また、社会民主党のネベス候補もシェアを伸ばして来ている。この所、ブラジルでは失業率など弱い経済指標が連續して発表されており、経済危機管理能力に強いとされる社会民主党の支持が強まって来ていると見られる。10月5日の大統領選挙に向けて、引き続き為替相場はこれらの選挙関係の報道の影響を受けやすく、ボラタイルな相場展開が予想される。

方向性としてはレアル安方向のバイアスが強いと見られるが、レアル高方向に振れる要因として中銀の介入姿勢には注意が必要である。今週水曜日に中銀は為替介入プログラムにおけるロール金額を大幅に増額したが、市場の反応は限定的だった。現在は2013年8月に中銀が為替介入でレアル安を押さえ込んだ2.45台半ば辺りが意識されている。今年の2月にもこの水準を試したが、介入警戒感もあって跳ね返されている。逆に言えばこの水準で中銀がアクションを起こしてこない場合、かなりレアル安方向に相場が走る可能性があるため、注意が必要である。

来週はECB理事会、日銀短観、米国雇用統計等重要指標が目白押しとなっている。また、週央からは中国が国慶節で連続祝日に入る。特に重要度が高いのは、やはり米雇用統計であろう。市場予想のコンセンサスは非農業部門雇用者数が前月比215千人増と強めの予想となっている。この相場を牽引してきた大きな要因にFRBの出口戦略を巡る思惑があり、仮に前回同様弱ければ2ヶ月連続となるため、一時的に流れが変わる可能性もある。200千人を越えて来れば、今のトレンドが継続するだろう。

これらの重要なイベントをこなした後、週末には伯大統領選挙となっており、荒っぽい相場展開は避けられないだろう。